

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成29年3月15日

事業所名 ハグキッズ健康クラブ おおさかてんじん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切である	5		少人数制での対応とさせていただく事で運動する上でのスペースを確保しています。	
	②	職員の配置数は適切である	5		指定基準を満たした人員配置をしています。	より一層の質の向上、安全性確保のため新規職員の採用を検討しております。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5			
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5			現状を維持します。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	1		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	3	今回の評価より実施していきます。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	3	今回の評価より実施していきます。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5	現在、実施していません。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	内部研修や外部への研修等、様々な情報を取り入れて質の向上を図っています。	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	1		随時お子さまや保護者様のニーズの確認が
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2		

適切な支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されている	3	2		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	2		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成している	2	3		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			
	⑱	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		当日のお子さまの様子や反応等から考えられる事を議論し、次回のご利用時に活かせる内容で実施しています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画に見直しの必要性を判断している	5			
	適切な支援の提供	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1	
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		5		
㉓		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		5		

関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		5		
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		5		
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		5		
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4		
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		5		
	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	2		
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		職員から保護者様に近況の確認をさせていただき、そこから考えられる課題等について話をさせていただいています。	保護者様へのフィードバックの時間の確保が課題となっています。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	3		
保護者への説明書	㉘	運営規定、利用者負担額等について丁寧な説明を行っている	4	1		
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			
	㉚	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		ご利用毎にお子さまの近況等を確認させていただき、解決策等の助言をさせていただいています。	今後も継続していくとともに、保護者様が相談しやすい環境を整備していきます。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により保護者同士の連携を支援している	2	3	同じご利用枠の保護者様同士で会話がしやすい雰囲気作りを行っています。保護者会等は実施出来ていません。	保護者会等の実施を検討していきます。
	㉜	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5			

責任等	⑳	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		5	現状、ブログは活用しておらずホームページにて事業所の情報を発信しています。	更新が滞っており最新の情報を提供出来ていません。定期的な更新を目標に業務の管理を行います。
	㉑	個人情報の取り扱いに十分注意している		5		鍵付きの棚にて保管・管理しています。
	㉒	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		5		
	㉓	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を図っている		5		行事を実施しておらず、地域との関わりの低さが課題となっています。
非常時等の対応	㉔	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	2		マニュアル作成後の更新が課題となっている他、周知出来ているかの確認を行う必要性が考えられます。
	㉕	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1		火災訓練以外の訓練の頻度が低い事が課題となっており、様々な状況の想定をした訓練の実施を目標とします。
	㉖	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	5		保護者様より個人情報として服薬や病歴等について確認させていただいています。	
	㉗	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		5	食事やおやつの提供を行っていません。	
	㉘	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	3	共有出来る様にしていますが事例が少ないです。	どんな些細な事でも記録を残し、職員の危機管理意識の向上に努めていきます。
	㉙	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1		
	㉚	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		身体拘束はしない事を原則としています。パニック等を起こされた場合も保護者様に落ち着ける方法等を確認させていただいた上でお子さまへの対応を行っています。	

\*この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。